

砂と水、草木

さあ、どんぐり山へ

園庭における子どもの遊び
主任 藤井 由理

新宮つばみ保育園も開園して8年経ち、園庭の木々はずいぶん生長してきました。初春に咲く梅の花や、サクラランボにすもも、秋に実るどんぐりなど、季節のめぐみを感じただけならず、初めは、初めてすももがなった年は、たった1個の小さなすももを青組達だけで分け合ってこっそり食べた事もありました。園庭には山や畑、芝生があり、小さなビオトープにはめだかも泳いでいます。

子ども達はそんな園庭であそぶのが大好きです。中でも水あそび、泥んこあそびは外せないあそびで、外に出ると真っ先に向かうのが砂場、地面を削りサラ砂集め、土を握って泥団子作り、そして雨上がり水溜まりが出来ていようものなら、即泥んこあそびが始まります。乾いているとサラサラなのに、湿っているとサクサク、さらに水を加えるとドロドロ、いくつにも感触を変える水と土。水と土は子どものあ



そびには、絶対に欠かすことが出来ない最高のおもちゃです。しかしその園庭も8年もの間に、山の土が流れ出し、木の根が張り出しデコボコしてき、柵のない砂場の砂はなくなりカチカチになってしまったり、無残な姿になってしまいました。そこで25年度初めに大規模改修工事をおこないました。

園庭に出てたくさん体を動かし、土と水で思いっきり子ども達をあそばせたいという思いから、以前より構想を練っていたポンプと水路のある山を実現させました。

今回のような大規模改修は初めてです。園庭に入ってくるトラックやシャベルカーに、子ども達の目はくぎづけです。工事のおじさん達の作業を、滑り台の上から、お部屋の窓からへばりついて興味津々で見っていました。日に日に変化する山の様子にわくわく感が高まり、今か今かと山であそべる日を待ちわびていました。

6月6日、待ちに待った山開きです。山は「どんぐり山」と命名されました。どんぐり山の頂上のポンプを押すと水が勢よく汲み出され、山の斜面を利用して水路を通り砂場へと流れ出します。途中2カ所に水溜りがあり、小さな水門を閉めるとそこでも水遊びができるようになっていきます。子ども達は一生懸命にあそぶ姿を見ていると私も嬉しくなってきました。こ



「新宮に新しい保育園を作る」そう聞いた時、僕の心は震えました。ぜひ、立ち上げの一員になって新しい保育園で働きたいと。保育園を作るためのワークショップは、毎回とても楽しかったです。工事が始まり、徐々に出来あがっていく保育園を見て、期待に胸をふくらましていたことを今でもはつきり思い出せます。

勇気と思いやりを胸に
中村 一星

新宮つばみ保育園に
異動してきて
中岡 千晶

私は姉妹園である千早のつばみ保育園で13年間勤めていました。考え方が同じ法人内の異動なので保育に関して大きな違いはありませんでしたが、全体の人数が少ないからこそできることと、一人ひとりに保護者の方のメッセージを贈るなど、多い人数ではできないことだらうと思っています。とても素敵な卒園式です。

第一回目の卒園児は、たったの10人。そこからスタートして、気がつけば8年間出会った子ども達の数は、200名以上でした。うか。新宮つばみ保育園で出会った子ども達との思い出は、保育士としての僕の大きな糧になっています。今、僕はさらさらび保育園で働いています。

そんな違いは多少ありますが、どこへ行っても子どもへの関わりは変わらないし、私は「自分の子だったらどうするだろう？」と考えながら母であることと武器に保育をしていこうと思います。今まで新宮つばみ保育園が一つ一つ手作りでできたものをしっかりと知り、残していきたいながら、私が千早のつばみ保育園で積み重ねてきた経験を生かしていきたいです。私を温かく受け入れてください。



毎年12月に行われる三園合同発表会ですが24年度から「輔仁会合同音楽祭」と名称変更しました。三園が同じ音楽に対する気持ちをもち、発表するから聴くだけではなく、お互いに音楽を感じ合いたい。音楽祭は会場の全員で歌う歌に始まり、器楽合奏や歌や太鼓の演奏の他、幕間での保育士による楽しい演劇、ゲストの方の素敵な演奏もあり、まさに音楽であふれる一日となります。

トピックス
音楽祭



平成25年度 職員構成 (6月20日現在32名)

- 理事長 大浦 純平
- 園長 大浦 まゆみ
- 主任 藤井 由理
- 副主任 中村 文
- 副主任 中岡 千晶
- もも1組 中村 文
- 々 重廣 美佑貴
- 々 北村 知子
- 々 宇佐美 峰子
- 々 山口 恵子
- もも2組 大神 華織
- 々 前山 世季香
- 々 車田 桃子
- 々 今泉 朱香
- 々 夷 道子
- 々 岡田 寿恵
- 々 長野 美由喜
- うめ組 中村 紘子
- 々 田作 眞子
- 々 矢野 省子
- 々 村上 沙希
- 々 久保田 亜由美
- すみれ組 後藤 千里
- れんげ組 磯村 玲子
- つくし組 中岡 千晶
- 々 高野 千代
- 栄養士 桐島 知子
- 々 小祿 由香利 (育休中)
- 調理員 脇谷 浩美
- 々 徳永 まゆみ
- 々 藤原 久美子
- 々 日高 真由
- 事務員 大浦 有平
- 用務員 窪田 芳遠

平成24年度 新宮つばみ保育園経理区分 決算状況(単位:千円)		
【 資金収支計算書 】		
経常活動による収支	運営費収入	103,678
	利用料収入	4,773
	その他の経常活動収入	8,948
	経常収入計 (1)	117,399
	人件費支出	85,523
	事務費支出	5,852
	事業費支出	17,465
	その他の経常活動支出	3,896
	経常支出計 (2)	112,736
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,663
施設整備等による収支	施設整備等収入計 (4)	0
	施設整備等支出計 (5)	3,148
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	- 3,148
財務活動等による収支	財務収入計 (7)	0
	財務支出計 (8)	3,000
	財務活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	- 3,000
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)		- 1,485
前期末支払資金残高 (11)		17,163
当期末支払資金残高 (10)+(11)		15,678
【 貸借対照表 】		
資産	流動資産	22,607
	固定資産	199,455
資産の合計		222,062
負債	流動負債	6,929
	固定負債	36,000
	小 計	42,929
純資産	基本金	10,000
	国庫補助金等特別積立金	99,989
	その他の積立金	27,500
	次期繰越活動収支差額	41,644
小 計		179,133
負債及び純資産の合計		222,062

寄せられた意見・要望(平成24年度分)

受付年月日	申出者	受付内容	解決結果
2月	園児両親	友達に顔をつままれひっかき傷ができた。顔に傷を作るのは困る。友達の子には知らせているのか、自分ならば謝らざるにはいられない。	お知らせはしていること、仲良く遊んでいる中で起きたこと、ひっかきなど多い年齢であり防げなかった園の責任であることを説明、できる限りけがのないよう努力するとお伝えした。

子どもにとって日課(毎日繰り返される生活の流れ)は大切です。毎日繰り返されることで子どもは見通しを持って自ら行動できるようになります。年長クラスは今まで「食事→あそび→睡眠」だった生活の流れを、昨年度から「あそび→食事→睡眠」に変えています。11時から食事をとり始めるのは少し早いのではないかと、この点や未満児クラスで身につけた「食べたら寝る」という流れを崩さないようにする事を考え、職員会議で



年長クラス日課の見直し 年長主任 中岡千晶

の話合いの結果、見直しをしたのです。変えたばかりの頃は保育士側が新しい流れに戸惑い、試行錯誤の連続でした。毎日たんぼの部屋を3クラス合同の食事の部屋に変える大変さに「本当にやるべきなのか？」と悩みました。けれども、子どもにとって良い方法ならば、大人が少し大変になっても工夫で乗り越えるべき!!と決め、改善に改善を重ねていこうと決めます。

あそびに区切りをつけた子から手洗い・うがいをして食事の部屋に入っていく姿、横割の活動(昼寝)に入っていく姿など指示されている姿ではなく自ら行動している姿を見て手応えを感じています。又、私達保育士も3クラスの子どもの事を把握し、担任だけの考えで物事を進めることなく3クラスが同じようにマナーなどを伝えられるようになっていくことにも気づきました。まだまだ課題は出てくると思いますが、1つ1つ解決して子どもにとってより良い方法を考えていきたいと思っています。

法人のシンボルマーク。スリーペアーズが園旗になりました。昨年より運動会や音楽祭など大きな行事には掲揚しています。また、小さなハンデイスライズの物は遠足や散歩などの園外保育で活用しています。シンボルマークの園旗を目にする事があるかと思いますが、これからは温かい目で見守って下さい。(藤井 由理)

24年度、新宮つばみ保育園は「虹」子どもたちの合奏「山の音楽家」を演奏した大きな感動を呼びました。今年の音楽祭も大いに期待しています。(中村 文)

